

企業の問題点を専門家が解決

こうべ企業の窓口

神戸商議所「サムライ神戸ネット」 ワーク登録の弁護士ら士業で構成

「こうべ企業」の窓口」は、兵庫県下の企業や事業者の経営を支援するために、様々な分野の士業が結集し平成25年に結成、中小企業に対するワンストップの相談窓口として活動している。

「何か困ったときに相談してもらえれば、最適なメンバーを紹介することができるのが当組織の特徴。横断的な連携によって、相談者自身が気づいていないような問題点を発見できることもある。今後は出張相談会なども積極的に取り組んでいきたい」と、広報委員長の細原次世(社会保険労務士)は組織の活性化と地域への貢献について抱負を語る。

メンバーは神戸商工会議所の運営する「サムライ神戸ネットワーク」に登録している士業で、弁護士、司法書士、行政書士、不動産鑑定士、税理士、公認会計士、ファイナンシャル・プランナー、中小企業診断士、社会保険労務士、弁理士、土地家屋調査士の45名が自主的に運営、商工会議所主催のセミナーで講師を務め、相談会の開催などを行っているほか、メールマガジンへの寄稿活動など幅広く活躍する。

「専門部署がないため対応が遅れがちになっていくところが多いという。『こうべ企業』の窓口」ではそのような企業の問題に最適な結果を導くため、士業同士の連携を強化すべく、月1回の定例会では商工会議所担当者や連携し、それぞれの事業内容の発表や、他士業間でのロールプレイング研修などにより問題解決力の向上を図っている。

「何か困ったときに相談してもらえれば、最適なメンバーを紹介することができるのが当組織の特徴。横断的な連携によって、相談者自身が気づいていないような問題点を発見できることもある。今後は出張相談会なども積極的に取り組んでいきたい」と、広報委員長の細原次世(社会保険労務士)は組織の活性化と地域への貢献について抱負を語る。



定例会ではお互いの事業分野について発表しあい、連携強化を図っている



美紀 女史

大阪学院大学(大阪府吹田市)は7月2日、よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の人気女性漫才師ハイヒール・リンゴさん(本名・美村美紀)の名譽学位授与式を執り行った。同学では、名譽博士の学位は学問、芸術、文化などの向上に顕著な貢献をした者に授与している。

中、同学大学院商学研究科で國定浩一教授の指導のもと金融論を学び、そこで習得した経済学の知見を自身出演の情報番組などを通じて、分かりやすい表現で視聴者に届けてきた。このことは学び続ける社会人の模範であり、これらの活動により学術文化の発展および生涯学習の推進に寄与されるもので、これにより美村氏に名譽博士の学位が授与された。

縮まっています。(この世界に入る)32年前は女子大生の漫才師がいなくて珍しかったですが、京都産業大学を卒業して(この世界に入り)勉強不足を感じました。最近のニュースや情報番組では知識が必要とされていますから、改めてもう一度国や政治、経済について学び直したかったです。テレビで國定先生とご縁があり、金融論の授業に聴講生としてスタートしました。皆様も本学の聴講生制度を利用して、ぜひ私達とともに学び、これからこの授与に恥じないよう精進していきたい」と謝辞を述べた。

同授与式で、美村氏は「まさかこんなになりたいようなことになると思っていました。恐ろしいです。」「白井総長(大阪学院大学)と記念撮影するハイヒール・リンゴさん(右)

また報道陣の囲み取材では「博士はお茶の水博士ぐらいしか知りませんが、できる限り博士と呼んでください。カナダで参戦中の(女子サッカー)